

町民の要望ふまえ まちづくりを努力



町長 浅妻 茂一郎

(前略) 国は好景気に支えられて
 税収の大幅増収が見込まれ、赤字
 国債を解消したものの、地方には
 本年度も昭和六十年以降引続いて
 国庫負担率の引き下げ措置がとら
 れるなど、依然として地方財政運
 営は厳しい局面が続いております
 (中略) とりわけ、地方財政は昭和
 五十年以降大量に発行した地方債
 の累積による公債費の増減に努め、
 地方財政の健全化を図ることが緊
 急の課題とされております。本町
 におきましても、山田小学校グラ
 ンド用地債などにより、前年度末
 町債残高が三十七億七千六百万円
 を超える等、厳しい財政状況下下
 におかれております。しかし私は、
 町民のニーズに的確に対応する為、
 基本的には投資的事業の確保、国
 庫事業の積極的導入を図るなど、
 国庫との連携を保ちつつ町政を進
 めてゆく所存であります。国庫補
 助金等の削減問題の続いている現
 状からして、これまで以上に本町

人件費12億7千万円

総務費 16億2388万1千円

(前年度比 +2億8007万2千円)
 総務費は予算総額の31.7%を占めます。
 大半は人件費で12億7646万円。交通安全対
 策として、引き続き関係団体の育成強化
 と交通安全思想の啓蒙・普及、交通安全
 施設の整備に努めます。また高速鳥原バ
 ス停駐車を拡張整備します。町史編さん
 事業は昨年より本格的な執筆作業に入り、
 平成五年度に全事業を完了すべく作
 業を進めています。

- ・特別職給料(町長、助役、収入役) 1918万8千円
- ・教育長給料 507万6千円
- ・職員給料(212人分) 6億3964万4千円
- ・職員手当など 3億6096万6千円
- ・共済費 2億3803万8千円
- ・町長交際費 339万9千円
- ・町史編さん費 1015万8千円
- ・新潟市合併に関する意識調査検討委員
 会報酬(19人分) 16万4千円
- ・広報などの印刷製本費 575万9千円
- ・交通安全対策費 1502万1千円
- ・自治会長委託料 861万4千円
- ・役場庁舎増改築事業費1億1748万4千円
- ・鳥原バス停駐車場建設事業費 7982万4千円

- ・徴税費 2870万2千円
- ・戸籍住民基本台帳費 970万6千円
- ・選挙費 194万2千円
- ・統計調査費 566万3千円
- ・監査委員会費 153万3千円

生ゴミ処理器 購入に助成

衛生費 3億5823万1千円

(+5059万5千円)
 保健衛生では健康教育、健康相談、健
 康診査など実効ある保健事業で町民の健
 康づくりを積極的に推進します。また各
 種予防接種の実施、健康展などを通じ「自
 らの健康は自ら守る」という認識と自覚
 を高め、健康保持増進に努めます。

ゴミの減量化と有効利用を目的とした
 家庭用生ゴミ処理器購入費の助成を行い
 積極的に奨励します。防疫薬剤購入費の
 補助、家庭用排水溝整備も引き続き助
 成を行います。

- ・高額療養費資金貸付基金繰出金 400万円
- ・国民健康保険特別会計繰出金 500万円
- ・予防費 1998万9千円
 (各種検診委託料 1381万5千円)
- ・母子衛生費 1177万5千円
- ・環境衛生費 735万3千円
 (防疫薬剤購入費補助金 210万円)
- ・老人保健特別会計繰出金 8056万8千円
- ・ごみ収集委託料 5036万7千円
- ・新潟地区広域清掃事務組合負担金 1億6109万円
- ・生ゴミ処理器導入助成金 88万円

立仏小屋内体育館を 増築

教育費 3億5894万7千円

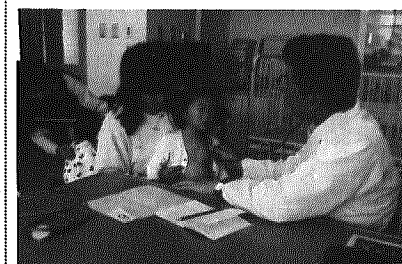
(-4億8732万1千円)

学校教育では立仏小学校の屋内体育館
 を増築するほか、大野小学校の受水槽の
 改造、黒鳥小学校防球ネット工事などの
 施設整備を図り、教育環境の向上に努め
 ます。社会教育では生涯学習を重点施策
 とし公民館を中心に各種講座などの事業
 の充実を図っていきます。町民の体育向
 上のため、運動施設の整備を図り、総合
 庁舎建設予定地は整地工事を行い多目的
 広場とします。また、ふるさと創生事業
 として人材育成事業を掲げ、その一つと
 して文化講演会を実施します。緒立土地
 区画整理事業に伴う緒立遺跡発掘調査も
 昨年に引き続き行います。

- ・教育委員会費 1638万7千円
- ・小学校費 1億8558万2千円
 (立仏小学校屋内体育館増築工事及び
 図工室新築工事 1億58万円)
- ・中学校費 3492万2千円
- ・社会教育総務費 794万2千円
- ・公民館費 1125万3千円
- ・文化財保護費 266万5千円
- ・青少年問題対策費 355万円
- ・図書館費 1075万6千円
- ・緒立遺跡発掘調査費 2595万7千円
- ・保健体育総務費 671万2千円
- ・社会体育費 2595万6千円
- ・学校給食費 2726万5千円



立仏小学校



検診(1歳6か月児健診)

老人福祉センター建設に 6億4千万円

民生費 9億3384万4千円

(+6億5131万円)

緒立土地区画整理事業の施行に伴う老
 人憩の家「黒埼荘」の移転改築は、より
 充実した老人福祉センターとして建設し
 ます。またデイサービスセンターを併設、
 在宅の虚弱老人の通所サービス事業を実
 施します。また今年度から寝たきり老人
 等を介護している者に介護手当を支給し
 ます。障害者対策として黒埼荘隣の「ふ
 れあいの家」を引き家して心身障害者通
 所作業の場の提供を考えています。児童
 福祉では保育所施設の改善のほか、保育
 料を17階層から10階層とし、今後とも保
 護者負担の抑制に努めます。

- ・家庭奉仕員委託料 827万7千円
- ・やひこ学園負担金 1330万2千円

- ・社会福祉協議会補助金 827万7千円
- ・保険基盤安定繰出金 1063万円
- ・老人福祉総務費 1305万4千円
 (ねたきり老人等介護手当 240万円)
- ・老人憩の家管理費 1162万2千円
- ・国民年金事務費 2509万円
- ・老人福祉センター建設費 6億4007万9千円
- ・障害福祉費 881万9千円
- ・児童福祉総務費 4364万9千円
 (保育所改修工事費 364万9千円、私立
 保育所補助金 680万2千円、幼児バス運
 転委託料 729万2千円など)
- ・児童措置費 1億4143万3千円
 (黒鳥保育園委託措置費2525万1千円、
 児童手当3240万円、児童措置費6218万
 9千円など)
- ・児童遊園維持管理費 144万9千円



老人憩の家「黒埼荘」

商工費 1億3694万6千円

(-5044万1千円)

商工業者の経営資金対策として資金貸
 付条件の拡大を図ります。商店街育成の
 ため共同駐車場の借上料・街灯の占用料
 等も引き続き助成を行います。

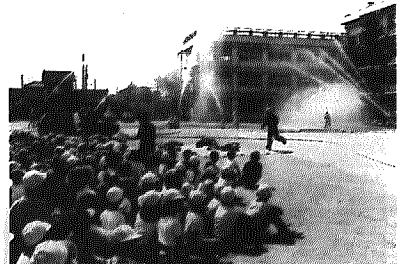
- ・黒崎町商工会補助金 800万円
- ・産業育成資金貸付金 6100万円
- ・商工業近代化資金貸付金 3000万円
- ・持家住宅建設資金貸付金 718万円
- ・産業育成資金貸付金元利返還金 2145万2千円

消防費 4442万7千円

(+86万1千円)

町民の防災思想の普及啓蒙に努め、施
 設などの整備推進を図ります。防火水利
 の確保、ポンプ車両、小型動力ポンプ等
 の整備を計画的に実施するほか、指令車
 を買い替えます。

- ・常備消防費 1349万円
- ・非常備消防費 2190万4千円
 (消防団員報酬 255人分 494万7千円)
- ・消防施設費 903万3千円



防災訓練

独自の施策を行政全般に亘ってき
 め細かく検討し、展開していく事
 が肝要と考えているものでありま
 す。こうした観点から、本町の新
 年度予算編成といたしましては、
 国同様極力経常経費の節減、抑制
 に努めるとともに、二万三千三百
 人の町民の要望を充分ふまえ、固
 有の財源の確保を図りながら本町
 のおかれた立場や条件等を充分に
 反映すべく町単独事業につきまし
 ても、広範囲に推進することとし
 た次第であります。

(中略) 町政執行の基本的姿勢と
 いたしましては、基本的人権の尊
 重を基盤として「愛とおもいや
 り」、「協調と融和」をモットーと
 して町民との対話の町政を積極的
 にすすめる、町民すべからず、住ん
 で誇れる町、心豊かな隣人愛に充
 ちた緑と潤いのある「まち」づく
 りの実現に向かって、渾身の努力
 をいたす所存であります。

(中略) 新年度予算編成にあたり
 ましては、常に提唱しております、
 一・健康で心のふれあう福祉社会
 の実現 二・快適とやすらぎを与
 える生活環境の整備と充実 三・活
 力に満ちた農工商業の振興と産業
 基盤の育成 四・教育、文化、ス
 ポーツの振興と施設の整備充実
 を基本方針として、財源の重点的
 かつ効率的配分を行った次第であ
 ります。

議会三月定例会の施政方針から